

《三洋電機》50歳以上の全従業員対象に早期退職を募る！ 希望しない場合は、キツパリと意思表示をしましょう

リストラの続く三洋電機で、来年3月末をメドに22000人の人員削減をするとの発表がされ、その中で三洋本体では初めての早期退職の募集が打ち出されました。

その内容は、勤続10年以上で満50歳以上の一般従業員を対象とするもので、募集期間を12月4日から18日までの2週間、退職時期は来年1月20日とするというものです。

三洋電機では会社再建のための「構造改革」を理由に、すでに労働条件や賃金の切り下げが実施されています。また、昨年9月に打ち出された3年間で1万4000人の人員削減計画は、前倒し強行され、1年も経ずに人員目標が達成されました。この間、「営業研修」などの名目で過酷な配転に追いやられ、多くの労働者が泣く泣く職場を去っています。

年配の労働者の間から、「今度の希望退職では、退職を迫られはしないか」「きみはもういらない、などといわれるとどうしよう」「など、不安を訴える声が上がっています。

会社は、希望者だけと断言していませんが、退職をせまる言動や何回も呼び出すなど、退職強要をすることは許されません。労働者もハッキリと意思表示することが必要です。労働組合は会社のやり方を充分にチェックし、退職強要を許さない取り組みが求められています。

面接でのガンバリがあなたと家族を守ります

退職強要をハネ返す4ヶ条

「私はこの会社に残ります」この一言があなたと家族を守ります。

それでも会社が「同意」をせまってくれば「これ以上の説得や面談はやめてください」ときっぱりと断りましょう。

「同意するまで」何回も面談する「応じなければ仕事はない」などと迫れば違法です。「労働基準監督署か弁護士に相談します」と断りましょう。

「会社は大変」と言われたら、「私の生活も大変」と答えましょう。

「ケイタイ、デジカメ、みんな海外へ行ってしまおう。仕事が無くなりはないか不安だ。早期退職で転進支援金をもらったとしても、退職しない場合の残り期間の収入の半分にもならない。家族を思うと現役でがんばるしかないが展望がほしい」(大東事業所・50代・男)

「この前、人減らしが終わったようなことを言っていたが、またリストラか。金融機関からきた人たちに、三洋は、解体されていくのでは…。こんなことでは、安心して技術開発にも専念できない」(枚方・研究所)

「滋賀からの群馬移転で多くの人達が犠牲になって泣く泣く退職する人達が増えそう。そんな状況なのに、全社的にまだまだ多くの悲劇を生みだそうとするんですか?」(滋賀)

一人で悩まず、みんなでがんばりましょう!!

発行者：電機労働者懇談会 中山森夫
〒108-0073 東京都港区三田 3-2-20
Tel:03-3455-6006 FAX:03-3451-3595
編集：三洋電機労働者懇談会
発行 2006年12月(号外)

Electric Labor and Industry Correspondence
ELIC
(三洋電機版)

ひとりで悩まず、相談を 電機労働者懇談会

電話：03-3455-6006(東京)
06-6354-7237(関西)

メール：denkikon@nifty.com

大阪労連北河内地区協議会
電話：06-6906-5091